

登録コード	HM229102	開講年度	2026				
授業題目	成人保健学演習C					担当教員	百瀬 公人 他
英文授業名	Practice in Adult Health Science C					副担当	速水 達也・廣野 準一・西澤 公美・小宅 一彰・北川 孝
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・5時限 水曜・6時限	対象学生	成人保健学ユニット／1年次
講義室				授業形態	演習	備考	選択科目
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	学際的な観点で問題を解決するための研究を実施できる。
(2)詳細/Detailed information	EBPの概念に則った研究論文の講読とプレゼンテーションを通して、成人期における運動器疾患，スポーツ傷害，神経疾患，内部障害に対する評価，臨床推論，臨床判断，治療に関する科学的妥当性のある研究計画の立案方法を修得する。 ・成人期における運動器疾患，スポーツ傷害，神経疾患，内部障害などによる異常な運動の原因を説明できる。 ・運動器疾患，スポーツ傷害の評価ができ，臨床推論が行える。 ・成人期における運動器疾患，内部障害疾患，神経疾患の予防とケアを目的としたEBPTの研究を実施できる。 ・上記の目標達成のための必要な情報収集能力を得る。 ・上記の目標達成のための必要な分析能力を得る。 ・上記の目標達成のための必要な情報発信能力を得る。						
(3)授業の概要/Overview of course	授業では，成人期における運動器疾患，スポーツ傷害，神経疾患の評価・治療に関連した講義，臨床試験や系統的総説などの研究論文の講読，批判的吟味を中心としたプレゼンテーション，討論を通じて，EBPの概念に則った研究法の具体的な進め方について考究する。						
(4)授業計画/Course plan	第1回（10月 2日）正常な身体運動の基礎理解とその評価（百瀬公人） 第2回（10月 9日）異常な身体運動の基礎理解とその評価（百瀬公人） 第3回（10月16日）神経疾患患者の重症化予防を目指した病態理解（小宅一彰） 第4回（10月23日）神経疾患患者の重症化予防を目指した治療介入（小宅一彰） 第5回（10月30日）小児疾患患者の評価と治療（西澤公美） 第6回（11月 6日）小児疾患患者の臨床判断モデル（西澤公美） 第7回（11月20日）運動器疾患患者の評価（北川孝） 第8回（11月27日）運動器疾患患者における臨床推論（北川孝） 第9回（12月 4日）運動器疾患患者に対するエビデンスに基づいた治療（北川孝） 第10回（12月11日）EBPに則ったトッパスリート支援（速水達也） 第11回（12月18日）身体運動の神経生理学的評価手法の基礎と応用（速水達也） 第12回（12月25日）神経生理学的手法を用いた理学療法の可能性（速水達也） 第13回（ 1月 8日）スポーツ傷害調査の方法（廣野準一） 第14回（ 1月15日）スポーツ傷害予防のためのメディカルチェック（廣野準一） 第15回（ 1月22日）スポーツにおける体力の測定・評価法（廣野準一）						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法 各講義におけるプレゼンテーションの内容50点，討論50点，合計100点 全講義におけるプレゼンテーション50%、討論50%の配分比率で合計したものを最終評点とする。合計が60点未満は不可とする。 成績評価の基準 秀： 授業の達成目標水準から見て卓越している。複雑な応用問題を討論できる。 優： 授業の達成目標水準よりかなり上にある。簡単な応用問題が討論できる。 良： 授業の達成目標水準よりやや上にある。応用知識がある。 可： 授業の達成目標水準にある。基礎知識がある。 不可： 授業の達成目標水準より下にある。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	事前事後の学習内容は，講義課題について事前に自習し，授業での討論に備えてください。専門職の立場としてどのように考えるかを述べる準備をしてください。 なお，毎回討論を行い，その討論の内容を成績評価の基準で評価いたします。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	メールにて百瀬まで相談内容等をお問い合わせください。 百瀬公人 kmomose@shinshu-u.ac.jp 小宅一彰 k_oyake@shinshu-u.ac.jp 西澤公美 hitnishi@shinshu-u.ac.jp 北川孝 tkitagawa@shinshu-u.ac.jp 速水達也 hayamit@shinshu-u.ac.jp 広野純一 hirono@shinshu-u.ac.jp						

(8)授業の形式 /Course format	講義, グループワーク, 討論
----------------------------	-----------------